

リード調整の時間を劇的に縮め「音楽する時間を増やそう。研鑽6年、「ぶるぶるくん」が完成。鳴りにくいリードが鳴りやすくなり、へたつたりリードも9割が蘇生する！興味津々の発明と発見の軌跡を追う。

### ●竹内（インタビュアー）前書き

これまで、仕事やその周辺の活動の中で、音楽に関わるいろいろな人々とお話しする機会を得てきた。そして21世紀になつて思うのは、いわゆるプロの音楽家の演奏会や、有料の音楽公演の他にも、楽しむことの出来る多種多様な音楽の場が出現してきたことである。また、音楽に関わる人々も、様々なスタイルや形が出てきたという実感がある。確実にいえることは、半世紀前と比べれば日本人の生活にとって、音楽はずっと身近になつており、音楽にまつたく疎遠な人が著しく減つたのではないかと想像する。

近年、私の仕事の一つに加つた、大学（音楽学科）での通信教育生の方々の出会いは大変に衝撃的なことである。皆さんは、様々な形で現在の生きた音楽に関わつた人生を送つておられ、その多様さゆえに、「次にはどんな人に会えるのかと胸をときめかせる」と言つても過言でない。その出会いの中には、音楽活動を有効にするための様々な方法や機器を開発した人たちがいる。今回は、その中から木管楽器のリードについて、苦心の末にリードの吹きやすさ、鳴りやすさを改良するツールを開発した稲田聖也さんに、その開発の物語、そしてその音楽に対する姿勢についてインタビューした。

「ぶるぶるくん」はどんな装置？

竹内 「画期的なリードの改善装置が発明されて、正式に特許を取得されたようですが、いったいどんなものなのでしょう？

稲田 吹きにくい（鳴りにくい）リードに機械的な振動を加えて、吹きやすく（鳴りやすく）するものです。現在3種類あります。一つはクラリネット用、二つ目は小型のダブルリードのオーボエ、イングリッシュホルン用、三つ目は大型のダブルリードのバスーン用です。

竹内 この白い部分（次ページ写真）が振動するのですか？

稲田 そうです。特許出願書類ではリード固定部と呼んでいますが、ダブルリードの場合はリードでリード固定部を挟み込むように固定し、シングルリードの場合は「止めゴム（出願書類では「固定部」）でリードを固定してから振動を加えます。

竹内 リード固定部の材質はアルミか何かの金属ですか？

稲田 いえ、塩化ビニールとかポリプロピレンといったプラスチック材料です。

竹内 なるほど。そして、この黒い箱には電子回路が組み込まれているのです。



Reed Optimiser

# 「ぶるぶるくん」

（前編）

リード改善装置

# 見参！

◎語る人

稲田聖也 Seiya Inada

オーボエ奏者 / システム・エンジニア

◎インタビューー 竹内明彦 Takeuchi, Akihiko

稲田聖也（いなだ・せいや）◎9歳でクラリネット、16歳よりオーボエに転じ、虎谷迦悦、小島葉子、ローター・コッホ、トーマス・インダミューレの各氏に師事。国内外で演奏活動を展開。2009年に「リードラボ i（アイ）」を設立。リード楽器奏者のためのツール研究と開発を行う。開発された「Reed Optimiser ぶるぶるくん」はリードの機能性向上ツールとして2010年特許を取得した。音楽活動と並行して電子工学と音響学を、教養として文学（哲学、社会心理学）を複数の大学で学んだ。行政関係のシステム設計・開発にも携わっている。